

作成日：2020年11月19日

「糖尿病教育入院患者における末梢神経機能の特徴」に関するご協力のお願い

1. 対象となる方

2020年4月から2021年3月の期間に15階病棟に入院した方、簡易神経伝導測定器を用いてDPNチェックを受けられた患者の方々の診療録を対象とします。

2. 研究概要

当院の糖尿病内科の教育入院患者様には足病変の予防のためにフットケア教育とフットチェックを行い、必要に応じてフットケア外来での継続ケアを行っています。足の状態や個人個人のセルフケア能力に加え、末梢神経障害の客観的データを用い、効果的な継続看護を行いたいと考えておりました。現在、フットチェックと並行して行っている簡易神経伝導測定器（DPNチェック）の結果を分析し、得られた結果を今後の糖尿病患者への予防的フットケア介入に活かしたいと考えています。

3. 研究の目的と方法

1. 目的と意義

年間400名以上の教育入院患者様へフットチェックとフットケア教育を行っています。末梢神経機能に関する数値データと特徴を分析し、当院の患者特性や他の合併症との関連を明らかにすることで、足病変のハイリスク患者様への早期介入につながると考えています。

2. 方法

- ・収集する主なデータ：
年齢、性別、罹病期間、糖尿病合併症の有無、神経伝導検査の結果値、フットケア記録
- ・データは診療録（カルテ）より収集します
- ・得られたデータは関西電力病院内で看護研究結果として公表し、院外学会等で用いる可能性があります。

3. 個人情報保護に関すること

患者様個人が特定できないよう配慮します。個別のデータは用いず、値を分析した結果のみを用います。患者様からご希望があれば、その方のデータは研究に使用しませんので、いつでも次の連絡先までご連絡ください。本研究に関する質問や確認も下記へご連絡ください。

お問い合わせ先：

大阪市福島区福島2丁目1番7号

関西電力病院 15階病棟

研究代表者名：河野千尋 研究責任者名：当田かおり

電話：06-6458-5821（内線：3720または3722）